

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取東 高等学校

重点項目	英語教育	提出日	令和 5年 3月 31日
------	------	-----	--------------

1 学校目標																											
<p>さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める。</p> <p>①主体性を身につけた、自ら学び自ら考え自ら行動する人を育成する。</p> <p>②社会の中で自らの役割を見つけ、一隅を照らすことのできる人を育成する。</p> <p>③困難に立ち向かう逞しさ(克己)、他者を思いやる優しさ(親和)、探究する積極性(進取)を持った人を育成する。</p>																											
2 重点項目に係る目標・成果																											
目標		成果																									
<p>スピーキングとリスニングを中心とした英語によるコミュニケーション能力は、大学入試改革においても今後比重が高まっていくと考えられるが、情報を収集し適切に発信していくためには、リーディングおよびライティングも含めて4技能の運用能力を総合的に伸ばしていく必要がある。そこで、授業・家庭学習を通して多くの質の高い input を生徒に与えた上で、授業内の output 活動を日常的に系統的に行う実践により、4技能をバランスよく伸長する教材開発を組織的に研究する。特に、英語ディベート活動は、的確な input (R・L) により根拠を持った output(S・W)につなげる4技能を統合して思考力、表現力の育成を図ることができる活動であり、これを系統的に実施するカリキュラム開発に取り組む。評価指標として、CEFR B1 を超える生徒の人数の増加を目標とする。</p> <p><数値目標></p> <p>GTEC(4技能)で以下の数値を目標とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年 12月</th> <th>2年 12月</th> <th>3年 6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】</td> <td>5人 (1)</td> <td>20人 (8)</td> <td>40人 (26)</td> </tr> <tr> <td>GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】</td> <td>200人 (164)</td> <td>250人 (242)</td> <td>270人 (231)</td> </tr> </tbody> </table> <p>() 内の数字：令和3年度の実績</p>			1年 12月	2年 12月	3年 6月	GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】	5人 (1)	20人 (8)	40人 (26)	GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】	200人 (164)	250人 (242)	270人 (231)	<p>英語科の教員が、各授業の中に、4技能の育成がバランスよく配置されるように英語の授業を組み立て、実践にあたった。特に英語ディベート活動において段階的な指導をしていくようにした。まず1年生は Fluency を高めるところから始めた。またディベート活動では、立論や反論の定型を習得した上で、少人数授業であることを生かし、頻繁にパフォーマンステストを行い、生徒に自信を与えるようにした。2年生は、あるテーマに対して様々なところから情報収集し、プレゼンテーションをしたのちにディベートをすることで、より知識を持った状態でのディベートができた。また、より説得力がある意見にするため、論の構成を強く意識して指導した。3年生はポストリーディング活動として、スピーキングやエッセイライティングをし、それらの活動が大学入試にも有益であることを意識して指導した。</p> <p>下記の表から、CEFR A2 レベルに関してはほとんどの生徒がクリアできている。課題であった B1 レベルの生徒の増加も少しずつではあるが成果が出ている。特筆すべきは、これまで3年生のライティングでよくみられた、途中で伸びが止まる傾向を打破した。今後も指導を継続していきたい。</p> <p><数値結果></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年 12月</th> <th>2年 12月</th> <th>3年 6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】</td> <td>11人</td> <td>18人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】</td> <td>195人</td> <td>264人</td> <td>243人</td> </tr> </tbody> </table>			1年 12月	2年 12月	3年 6月	GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】	11人	18人	23人	GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】	195人	264人	243人
	1年 12月	2年 12月	3年 6月																								
GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】	5人 (1)	20人 (8)	40人 (26)																								
GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】	200人 (164)	250人 (242)	270人 (231)																								
	1年 12月	2年 12月	3年 6月																								
GTEC 960 以上 【CEFR B1、英検 2級】	11人	18人	23人																								
GTEC 690 以上 【CEFR A2、英検 準2】	195人	264人	243人																								

3 実施事業

【小中学校課事業】

◆令和3、4年度「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業研修協力校事業」

- ・効果的な input、output の事例等を小中学校にも発信 →連絡協議会や授業研究会などを行った。
- ・2学期から立命館大学生命科学部の山下美朋准教授の指導を定期的に受けた。
- ・10月の「授業改善支援研修会」で全県を対象とした公開授業を実施した。小学校4名、中学校2名、特別支援学校1名、高等学校12名、その他1名の参観があった。

【独自事業】

◆英語力養成事業

○ディベート活動を中心とする英語キャンプの実施（本校、8月）

- ・福井県立藤島高等学校の三仙真也教諭よりオンラインで指導を受けた。
- ・本校より英語科教員3名、生徒11名が参加した。

○教員の英語教育研究大会等への参加

- ・全国英語教育研究大会（佐賀県、11月、オンライン開催）に本校英語科2名の教員が参加した。
- ・東京外国語大学投野由紀夫教授による記念講演、佐賀県立佐賀西高等学校横尾彰乙教諭による授業実演、福岡県立香住丘高等学校山田慎太郎教諭による発表、名古屋外国語大学太田光春教授による指導助言の分科会に参加した。
- ・英語ディベートの全国大会への生徒参加はできなかった。

PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会

4 総合所見（成果・評価）

小中学校課事業、独自事業により、本校英語科において、特にディベートの指導方法は徐々に確立されつつある。今年度は三仙教諭の指導を受けて、より立論(Constructive Speech)の重要性を意識した指導を行い、山下美朋准教授の指導により即興型ディベートと準備型ディベートを使い分けた指導を行ってきた。本校の生徒アンケートにおいて「反論が苦手である」と答える生徒がまだまだ多い点に課題は残るが、「英語で考えを組み立て、それを伝えること」が好きであると答えた生徒は多く、成果が出ているといえる。

GTEC などの検定試験においては、CEFR A2 レベルは卒業時までには大半の生徒はクリアしたが、B1 レベルになるとなかなか増えないという現状を大きく改善することはできなかった。しかし、1年生においては CEFR B1 以上における目標数値の倍以上、2年生はほぼ目標通りの成果となった。今年度特筆すべきは、3年生のライティングにおける伸びである。GTEC ライティング平均点において、昨年度卒業生は2年次12月224点(B1 以上22%)、3年次6月224点(B1 以上22%)であったが、今年度卒業生は2年次12月209点(B1 以上9.6%)、3年次6月224点(B1 以上29.6%)というように大きな伸びを示した。これは、アウトプットの際の論の展開や意見の一貫性を重点的に取り組んできた成果の一端ではないかと考えられる。

新型コロナウイルスの影響で、全国の研究会がオンラインで行われてきたこともプラスに働いたと感じている。本年度は、全国英語教育研究大会に2名の教員がオンラインで参加でき、費用や時間の負担を考えると、今後もオンライン開催が継続されれば、より教員も研修に参加しやすい。高校生ディベート大会もオンライン開催であったが、十分な活動や準備ができず参加できなかったことが悔やまれる。英語部を中心に、来年度以降参加できるようにしていきたい。

※枚数任意